

# 地域の脆弱性を 可視化し住民に寄り添う 除雪を科学する

2024 **2/7** WED 18:00~20:30

弘前大学人文社会科学部棟4階 **多目的ホール**

地球温暖化による異常気象は正確な気象予測を困難にし、事前の備えを万全にすることがますます難しくなっている。特に、冬季は、豪雪と暖冬が不規則に現れ、一部の地域のみ豪雪が集中するなど、正確に予測し、万全の準備を備えるのがほぼ不可能になっている。このような状況下で、一人暮らしの高齢者や空き家・空き地が大幅に増えると、除雪されないことにより、通学路が途切れ、生活道路がふさがれるなど、社会機能が麻痺する負の外部性が生じる。快適な冬季の住民生活を維持するため、除雪を科学することが必要不可欠と言える。本フォーラムでは、データサイエンスを用いて、除雪に関する現状と課題を可視化し、その解決策を模索するために行うものである。

参加料  
**無料**  
定員100名

※事前申込み不要

## プログラム

- 主催者挨拶 18:00~
- 第1部 研究成果報告 18:05~
  - 大友翔一 氏 (株式会社GEOJACKASS代表取締役社長・静岡大学客員准教授) 「超高齢化する社会における都市の輪郭」
  - 花田真一 氏 (弘前大学人文社会科学部・准教授) 「空き家の増加が要望に与える影響の考察」
  - 李 永俊 氏 (弘前大学人文社会科学部・教授) 「雪対策に係る市民アンケート調査結果から見る現状と課題」
- 第2部 パネルディスカッション 19:30~
  - 趣旨説明・コーディネーター 李 永俊 (弘前大学人文社会科学部・教授)
  - パネリスト 大友翔一 氏 (株式会社GEOJACKASS代表取締役社長・静岡大学客員准教授)・花田真一 氏 (弘前大学人文社会科学部・准教授)  
石野卓也 氏 (金沢星稜大学経済学部・准教授)

主催：弘前大学人文学部／共催：弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター

本フォーラムは、日本学術振興会 (JSPS) 科研費23K11597の助成を受けて行われるものです。